

**第 13 回川崎港トライアスロン in 東扇島
兼 第 7 回川崎ジュニアトライアスロン大会
第 25 回 JTU 関東ブロックトライアスロン選手権大会
第 31 回東京都トライアスロン選手権大会**

競技運営マニュアル

【TO 用】

第 1.1 版

作成者	中丸 明寛
作成日	2020 年 9 月 9 日
最終更新日	2020 年 9 月 25 日

目次

第 13 回川崎港トライアスロン in 東扇島	1
目次	2
1. はじめに	3
2. 大会概要	4
3. 競技内容/スケジュール	5
4. 集合場所/時間	7
5. 服装/持ち物	9
6. COVID-19 感染防止対策	10
7. 注意事項	17
8. 緊急時の対応	18
9. 競技規則(ローカルルール)	20
10. TO 業務	24
11. コース図	32
12. 計測ポイント	37
13. エリア詳細図	38
改版履歴	45

■ 略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル（審判員）
----	-------------------

1. はじめに

このたびは、「第 13 回川崎港トライアスロン大会 in 東扇島」の競技運営をお引き受けいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今年の前半は国内外のほとんどのトライアスロン大会が中止となりましたが、with コロナの中での開催に向けた ITU/JTU からのガイドラインが整備され、KnTU においても新型コロナウイルス対策の検討を行い本大会の開催に向けた準備を進めてまいりました。また、大会の開催にあたっては、神奈川県及び川崎市から要請されているスポーツ大会開催に当たっての方針に基づき、行政とも協議を行った上で準備を進めております。

そのため本大会におきましては、安全第一での競技運営と合わせて、新型コロナウイルス感染予防に向けた対応を行う必要があります。TO の皆さんにおきましては、従来とは異なる運営方法と各種感染予防対策について事前に十分に理解いただき、大会運営者側の立場として、選手・応援者・関係者等、会場に会場される皆さんへの対応をお願いいたします。

また、本大会は JTU にて 11 月にお台場で予定されている日本トライアスロン選手権の選考レースとして、「JTU 関東ブロック選手権」と「東京都選手権」を併催して開催いたします。これは各地のトライアスロン大会が中止となる中で、JTU 関東ブロック競技会、一般社団法人東京都トライアスロン連合(TMTU)より要請を受けて開催するものです。

キッズ・ジュニア・一般と合わせてエリートのレースも開催することになりますので、各カテゴリーについて競技運営マニュアルをご確認の上、事前に内容をご理解いただいた上で、各担当業務を実施いただけますようお願いいたします。

本大会におきましては、例年対応いただいているボランティアをアサインしておりません。これは、高齢者の方が多いボランティアにおいて、コロナウイルス感染時の重症化のリスクを考慮して決定した内容となります。そのため、従来はボランティアの皆さんにお願いしていた作業も TO の皆さんにお願いすることとなり負担をおかけしますが、状況についてご理解いただきご協力いただけますようお願いいたします。

例年の大会と比較して、TO の皆さんには広い範囲をフォローいただきつつ、複数の役割をお願いしております。また、当日の状況に応じて、別のポジションのサポートに回っていただくなど、臨機応変に対応いただくことをお願いすることもありますので、何卒ご協力いただけますようお願いいたします。

チームリーダー：松村 一彦
技術代表：中丸 明寛

2. 大会概要

大会名称	第 13 回川崎港トライアスロン in 東扇島 兼 第 7 回川崎ジュニアトライアスロン大会 第 25 回 JTU 関東ブロックトライアスロン選手権大会 第 31 回東京都トライアスロン選手権大会
開催日	2020 年 10 月 4 日(日)
会場	神奈川県川崎市川崎区東扇島 58-1 東公園周辺特設会場
主催	川崎港トライアスロン実行委員会
主管	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合(KnTU)
協力	横浜市トライアスロン協会・川崎市トライアスロン協会
協賛	NTT 東日本

<大会役員・実行委員会>

役職	氏名
大会名誉会長	嶋崎 嘉夫
大会会長	渡邊 英夫
実行委員長	高崎 聡
レースディレクター(RD)	杉浦 博
大会本部	杉浦 真由美
COVID-19 対策委員長	小金澤 光司
チームリーダー(TL)	松村 一彦
技術代表(TD)	中丸 明寛
審判長(HR) *キッズ/ジュニア/一般の部	新津 桂一郎
審判長(HR) *選手権の部	青山 英司
副審判長(aHR) *選手権の部	北野 健二

<審議委員>

カテゴリー	氏名	
キッズ/ジュニア/一般の部	渡邊 英夫	大会会長
	高崎 聡	実行委員長
	中丸 明寛	技術代表
選手権の部 (JTU 関東ブロック選手権)	園川 峰紀	JTU 関東ブロック会長
	高崎 聡	実行委員長
	中丸 明寛	技術代表
選手権の部 (東京都選手権)	大村 真人	一般社団法人東京都トライアスロン連合(TMTU)理事
	高崎 聡	実行委員長
	中丸 明寛	技術代表

3. 競技内容/スケジュール

1. 競技カテゴリー

No	カテゴリー		出場人数	競技開始	レースナンバー	スイムキャップ
1	キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)		42 人	08:50～ [*1] (08:50～08:56)	1 - 42	赤
2	キッズ・高学年の部 (小学 4-6 年)		51 人	09:05～ [*1] (09:05～09:12)	51 - 101	青
3	ジュニアの部 (中学生)		22 人	09:20～ [*1] (09:20～09:23)	151 - 172	黄
4	一般の部 (高校生以上)		456 人	10:00～ [*1] (10:00～11:01)	201 - 656	白
5	選手権の部 (エリート女子・男子)	女子	28 人	12:30 [*2]	関東： 1 - 16 東京： 18 - 29	関東： 赤 東京： 黄
		男子	37 人	14:00 [*2]	関東： 51 - 73 東京： 74 - 87	関東： 青 東京： 白
合計			636 人			

[*1] タイミングスタート：8 秒ごとに電子音を合図に 1 人ずつスタート(砂浜の計測ポイントを踏んでから計測開始)

[*2] 一斉スタート：1m おきに 1 列に並んでスタート

※選手権の部にて、「JTU 関東ブロック選手権」と「東京都選手権」を同時に実施する。

2. 距離/周回数

No	カテゴリー	総距離	スイム	バイク	ラン
1	キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)	1.55km	50m (50m x 1)	1km (1.0km x 1)	0.5km (0.5km x 1)
2	キッズ・高学年の部 (小学 4-6 年)	3.1km	100m (100m x 1)	2km (1.0km x 2)	1.0km (1.0km x 1)
3	ジュニアの部 (中学生)	7.2km	200m (200m x 1)	5km (5.0km x 1)	2.0km (1.0km x 2)
4	一般の部 (高校生以上)	25.75km	750m (375m x 2)	20km (5.0km x 4)	5.0km (0.2km+1.6km x 3)
5	選手権の部 (エリート女子・男子)	25.75km	750m (375m x 2)	20km (5.0km x 4)	5.0km (1.0km x 5)

3. タイムスケジュール

<2020 年 10 月 4 日(日)> ※詳細は、別紙タイムスケジュール表を参照

内容		時間	
集合(役員/TD/HR/各チーフ/各サブチーフ)		05:30	
集合(各 TO)		06:00	
競技開始前 TO ミーティング		06:00 - 06:15	
【選手】 駐車場オープン		07:15	
【選手】 受付 (キッズ/ジュニア/一般)		07:15 - 08:30	
【選手】 開会式 *アナウンスで実施		08:30 - 08:35	
【選手】 競技説明会 (キッズ/ジュニア/一般) *アナウンスで実施		08:35 - 08:40	
【選手】 受付 (選手権)		09:00 - 10:00	
【選手】 競技説明会 (選手権女子)		10:50 - 10:55	
【選手】 競技説明会 (選手権男子)		11:20 - 11:25	
【選手】 競技コース試走		*全カテゴリ実施無し	
トランジションチェックイン			
TR2	キッズ/ジュニアの部	07:45 - 08:40	
TR1	一般の部 (高校生以上)	07:45 - 09:40	
TR2	選手権の部 (エリート女子)	11:00 - 11:30	
TR2	選手権の部 (エリート男子)	11:30 - 12:15	
競技		招集	スタート - 終了見込
	キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)	08:40	08:50 - 09:11
	キッズ・高学年の部 (小学 4-6 年)	08:55	09:05 - 09:35
	ジュニアの部 (中学生)	09:10	09:20 - 09:54
	一般の部 (高校生以上) *招集はレースナンバー下 1 桁で 5 グループに分けて実施	① 09:50 ② 10:02	10:00 - 13:00
	①下 1 桁 1 & 2 ④下 1 桁 7 & 8	③ 10:14	
	②下 1 桁 3 & 4 ⑤下 1 桁 9 & 0	④ 10:26	
	③下 1 桁 5 & 6	⑤ 10:38	
選手権の部 (エリート女子)	12:15	12:30 - 13:45	
選手権の部 (エリート男子)	13:45	14:00 - 15:07	
トランジションオープン (バイクピックアップ)			
TR2	キッズ/ジュニアの部	09:50 - 10:40	
TR1	一般の部 (高校生以上)	12:30 - 14:00	
TR2	選手権の部 (エリート女子・男子)	14:50 - 15:30	
表彰式 *アナウンスで実施			
	キッズの部/ジュニアの部	10:30 - 10:45	
	一般の部/選手権の部	15:30 - 15:45	
【選手】 閉会式 *アナウンスで実施		15:45 - 15:50	
競技終了後 TO ミーティング (全体)		15:30 - 15:45 頃	

4. 集合場所/時間

2020 年 10 月 3 日(土) 大会前日

集合時間	集合場所	役割	備考
10:00	大会本部	役員/TD/HR/各チーフ/各サブチーフ	
10:00	大会本部	TO(審判員) ※前日対応予定者	・TO リストにて、前日対応予定と記載している方は集合をお願いします。
-	-	TO(審判員) ※その他の方	・TO リストにて、前日対応予定となっていない方は前日の来場は不要です。

<前日の検温について>

※大会前日の夜、ご自宅で検温して問診票に記載をお願いします。

2020 年 10 月 4 日(日) 大会当日

<当日朝の検温について>

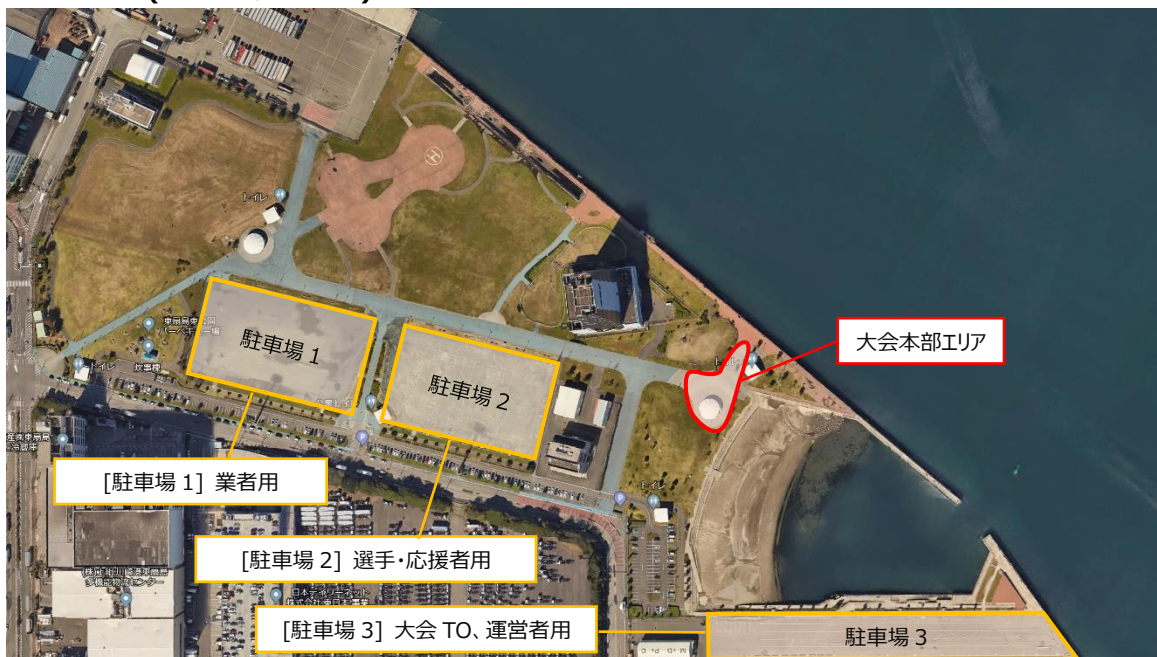
※大会当日の起床後、出発の前にご自宅で検温して問診票に記載をお願いします。

集合時間	集合場所	役割	備考
05:30	大会本部	役員/TD/HR/各チーフ/各サブチーフ	
06:00	大会本部	TO(審判員)	<ul style="list-style-type: none"> ・パート毎に集合して下さい。(チーフが招集) ・体温を測定し、問診票・参加同意書を提出いただきます。 ・大会当日、集合時間に遅れる場合は必ずご連絡をお願いします。

<大会前日・当日連絡先>

大会本部 (杉浦 真由美) : 090-8485-0022
 チームリーダー (松村 一彦) : 090-4202-2505
 技術代表 (中丸 明寛) : 090-4662-8457

<東扇島東公園 (大会本部・駐車場)>



<会場までのアクセス方法>



- 自家用車：国道 132 号線を東扇島方面に向かい、海底トンネルを抜けて東京方面へ進む
- 自転車：国道 132 号線を東扇島方面に向かい、海底トンネル「人道」を通行して東扇島へ上陸し東京方面へ進む
(※注) 海底トンネルの車道は自転車で通行出来ません。「人道」を通行して下さい。
- バス：川崎駅東口から、川 05 系「東扇島循環」に乗車し「東扇島東公園前」で下車
2020/10/4(日) 大会当日の始発：川崎駅 05:50 発 - 東扇島東公園 06:16 着
(※注) バスでご来場の TO の方は、集合時間(06:00)に間に合いませんので事前にご連絡下さい。

<自家用車で来場される方へ>

TO サイトから駐車証をダウンロードし、印刷して持参下さい。

駐車場 3(大会 TO、運営者用)へ入場いただき、駐車証をフロントウィンドウのよく見える位置に表示して下さい。

5. 服装/持ち物

服装(ドレスコード)

種類	ドレスコード	備考
上半身	JTU 審判員ポロシャツ(白黒)	[※注意] 忘れた場合、ベスト等貸与はありません。
下半身	黒のスラックスまたは半ズボン	
帽子	JTU キャップ	
靴	黒推奨	・動きやすいもの。派手なものは避けてください。 ※スイムパートについては、必要以上に裸足にならない。
アンダーウェア	黒か白の無地	・派手なものは避けてください。
サングラス	色の薄いものについて使用を許可	・任意にて着用してください。
雨具(雨天時)	透明レインコート	・傘の使用は不可とします。
マスク (COVID-19 対策)	白または黒の無地のもの 不織布のもの	・各自で予備を含めて準備し、着用をお願いします。 ・フェイスシールド着用時もマスクは着用をお願いします。
フェイスシールド (COVID-19 対策)	大会側で準備するもの	・必要な TO へ当日配布予定。 ・選手と接するポジションにて着用をお願いします。 (受付、スイム、トランジション、フィニッシュ等)
ビニール手袋 (COVID-19 対策)	大会側で準備するもの	・TO 全員へ当日配布予定。 ・選手と接するポジションでは常時着用をお願いします。 ・消毒等の対応時に着用して対応をお願いします。 ・救護等、選手と接する場合に、着用をお願いします。

持ち物

持ち物	備考
JTU ルールブック	・必須 (2019 年 1 月改定版)
JTU 公認審判員資格証	・必須
筆記用具(ペン・メモ帳)	・必須
ホイッスル	・必須 ※緊急時に使用。使用する場合は人に向かって吹かない。ピ・ピ・ピと短く吹く。
イエロー/レッドカード	・お持ちの方は持参ください。
エマージェンシーシート	・お持ちの方は持参ください。 ※低体温の選手の保護のため。
バイク・ヘルメット	・「ラン」パートで「移動」担当の方は、持ち込みいただけますようお願いいたします。 ・「移動」担当以外の方で、大会本部エリアから遠方のポジションを担当される方は、移動を容易にするために可能であれば準備をお願いします。
バイク用工具一式	・「トランジション」・「バイク」パート担当の方は、六角レンチ・ドライバー等、お手持ちの範囲で携帯できる物を持参ください。 ・主に、トランジションでのバイクチェック時に必要な場合に使用します。
ビニール袋 (COVID-19 対策)	・大会側にて準備し、TO 全員へ当日配布予定。 ・リタイア・ラップ選手からのアンクルバン受領時に使用する。(受領後に袋を閉じる)
問診票・参加同意書 (COVID-19 対策)	・TO 用の問診票・参加同意書を、印刷して記入の上で大会当日持参してください。 ・TO 受付にて提出をお願いします。

6. COVID-19 感染防止対策

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に関し、本大会の運営に当たっては、JTU から発信されている「大会開催時のチェックリスト」に準拠し、感染防止対策を実施いたします。

TOとして運営にご協力いただくみなさんにおきましては、本感染防止対策における内容を事前にご理解いただき、選手・応援者への丁寧な説明と協力要請をお願いいたします。また、TOとして業務するみなさん自身も感染しないよう、対策を徹底の上で業務いただけますようお願いいたします。

1. 全般

- TO・選手・応援者が順守すべき項目をチェックリスト化し会場内に掲示する。
- COVID-19 対策委員をアサインし、チェック項目が順守されているか、会場内を定期的に巡回・確認する。
- TO・選手・応援者全員の情報を、大会後 1 か月間をめぐりに保管し、万が一感染者が発生した場合に備える。
- 会場すべてに、ソーシャルディスタンス(2m)を保った導線の確保、指導を行う。
- 「マスク」の着用を徹底する。今大会で使用する「マスク」は、ウイルス拡散防止効果の高い、不織布でできたものとする。
- 大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、KnTU 事務局への連絡を要請する。

KnTU 事務局：杉浦(070-3236-2277)

2. スタッフ(TO)、選手、応援者への対応

- スタッフ、選手、応援者が下記の条件に当たる場合は、参加見合わせの要請をする。
 - 体調が良くない場合
 - 同居家族や近親者に感染が疑われる方がいる場合
 - 観察期間を必要とされている国・地域から帰国後、14 日が経過していない場合
- 応援者の制限を要請する。
 - キッズ・ジュニアの部に出場する選手 1 名に対して、応援者は 2 名までとする。
 - 一般・選手権の部に出場する選手 1 名に対して、応援者は 1 名限定とする。
- 選手・応援者へのお願い事項
 - マスクの着用（選手：スタート直前まで着用。フィニッシュ後に 1 人 1 枚配布し着用）
 - ソーシャルディスタンスの確保
 - ツバやタンを吐かない
 - タオルを共用しない
 - 飲料を飲み回ししない
 - 大声での声援や指導は行わない
 - 必要以上に裸足にならない
- 応援スペースの明示
 - 応援者が多く集まるエリアにおいては 2m ごとに白線を引き、ソーシャルディスタンス確保の目安とする。
- スタッフ・TO のフェイスシールド・ビニール手袋の着用
 - 選手と接するポジションは着用して業務する

3. 受付

(9/25 時点)

・受付方法については、最終精査中

- 受付の対象者
 - TO、選手、応援者全員を受付対象とする。
 - 公園への一般来場者は受付対象外とする。
※一般来場者へは、大会開催中であることを説明し、ソーシャルディスタンスの確保を丁寧に要請する。
- 問診票・参加同意書
 - TO、選手、応援者全員が、受付にて住所・氏名・連絡先を記載した問診票・参加同意書を提出する。
 - 大会終了後 1 か月間、KnTU 事務局にて保管し、その後廃棄する。
- 受付の導線
 - カラーコーンで入口と出口を設定し、一方通行の導線とする。
 - ソーシャルディスタンスを確保して 1 人ずつ受付できるよう、待機エリアを確保する。
 - 導線の入口にサーモカメラを設置し、体温が高い選手・応援者を簡易的に確認する。
- 受付の対面エリア
 - ビニールカーテンを設置する。
- 消毒用エタノールの配置
 - 受付に消毒用エタノールを配置し、選手・応援者・TO の手指の消毒実施を徹底する。
- 体温の測定
 - 「前日」の体温測定：各自の自宅にて、体温測定を依頼し、測定値を問診票に記載する。
 - 「当日」の体温測定：受付にて、非接触型体温計で測定し問診票に記載する。
※非接触型体温計での測定で 37.0 度を超えた場合は、接触型体温計で再測定する。
- 出場可否の判断
 - 「前日」または「当日」に測定した体温のいずれかが、37.0 度以上の場合に出場可否の判断を実施する。
 - ✓ **37.0 度未満**：出場可能とする。
 - ✓ **37.0 度以上**：メディカルに健康相談する。
 - ✓ **37.5 度以上**：参加辞退。(メディカルに健康相談を実施し、参加辞退を要請する。)
- 受付完了者の識別(リストバンド)
 - 受付完了後、出場可能となった選手・応援者にはリストバンドを渡し、大会終了まで着用を依頼する。

【イメージ画像】



4. 競技説明会

- オンライン競技説明会の実施
 - 事前にオンライン競技説明会の動画をインターネット上に公開し、選手に視聴してもらう。
 - 動画の最後に合言葉を入れる。
 - 大会当日の受付時に提出する「問診票」・「参加同意書」に合言葉を記載することで出席扱いとする。

■ 大会当日の競技説明

<キッズ/ジュニア/一般の部>

- アナウンスのみで実施する。

<選手権の部>

- 集合形式で女子・男子別々に実施する。
- 集合時には、ソーシャルディスタンスを保って「密」を避けるよう選手に指導して実施する。(最大 37 人)
- 説明内容は、オンライン競技説明会を補完する内容と当日の変更点など要点のみとし短時間で終了する。

5. 開会式、表彰式、閉会式

■ 開会式、表彰式、閉会式の実施

- アナウンスのみで実施する。

■ リザルトの掲示

- 大会会場での掲示は実施しない。(大会終了後、ホームページにてリザルトを公開する)

6. スイム

■ 消毒用エタノールの配置

- スイム受付に消毒用エタノールを配置し、選手・TO の手指の消毒実施を徹底する。

■ スタート待機時の整列

- カテゴリー別に規定した方法にて、ソーシャルディスタンスを確保して整列する。

■ マスクの着用・回収

- 入水直前までマスクを着用し、スタート前に所定のゴミ箱に回収する。

■ ボディナンバリング

- 選手のボディナンバリングは実施しない。(レースナンバーはスイムキャップの記載のみとする)

■ 応援者の観戦

<キッズ/ジュニアの部>

- 砂浜の指定エリアでの観戦を許可する。

<一般/選手権の部>

- 砂浜での観戦を禁止する。(芝生エリア・堤防での観戦は可能)

■ 選手招集

- トランジションで選手を分散させるため、参加者の多い一般の部のみレースナンバーで 5 グループに分けて招集する。

<一般の部>

- ① 09:50 レースナンバー下 1 桁 1 & 2
- ② 10:02 レースナンバー下 1 桁 3 & 4
- ③ 10:14 レースナンバー下 1 桁 5 & 6
- ④ 10:26 レースナンバー下 1 桁 7 & 8
- ⑤ 10:38 レースナンバー下 1 桁 9 & 0

※上記の招集を MC からのアナウンスにて誘導する。

※招集グループ内では、レースナンバー順での整列は不要とする。

※アンクルバンド受領後、「マスク廃棄 ⇒ 試泳 ⇒ スタート」と順次誘導してスタートする。

■ スタートプロトコル

<キッズ/ジュニア/一般の部>

- 8 秒ごとに電子音を合図に 1 人ずつスタートするタイミングスタート形式とする。
- 砂浜の計測ポイントを踏んだ時点から計測開始とする。

<選手権の部>

- 選手間のソーシャルディスタンスを 1m ずつ確保し、1 列に並んでスタートする一斉スタート形式とする。
- 「く」の字に選手を整列させる。(第一部位までの距離の公平性を確保)
- スタートグリッドにはロープを準備。1m 間隔のテープにてグリッドを表示する。

■ リタイア選手の対応

- TO がアングルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
- リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する)
- 移動時にソーシャルディスタンスを確保するよう要請する。

7. トランジション

■ トランジションタイムの扱い

<キッズ/ジュニア/一般の部>

- 総合タイムから除外する。
- 選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を要請する。

<選手権の部>

- 総合タイムから除外しない。

■ 消毒用エタノールの配置

- トランジション出入り口に消毒用エタノールを配置し、選手・TO の手指の消毒実施を徹底する。

■ トランジション入口導線 (バイクチェックイン・ピックアップ時)

- 入場待機エリアを設定し、ソーシャルディスタンスを確保して 1 人ずつ入場できるようにする。

■ バイク・ヘルメットチェック

<キッズ/ジュニア/一般の部>

- 目視でのバイクチェックを基本とする。(ブレーキ、突起物、ストラップ確認等)
- やむを得ず TO がバイク・ヘルメット等に触れた場合は、次の選手を対応する前に消毒を実施する。

<選手権の部>

- 目視でのバイクチェックを基本とする。DH バーの確認は確認用のボードを使用し、バイクに直接触れないようにする。
- やむを得ず TO がバイク・ヘルメット等に触れた場合は、次の選手を対応する前に消毒を実施する。

■ バイクラックの選手割り当て

- 選手間のソーシャルディスタンスを 1m 以上確保するレイアウトとする。
- 1 つのバイクラックに対して、両掛けは 5 台、片掛けは 3 台とする。
(従来は、両掛けは 8 台、片掛けは 4 台)
- 選手の配置をスイムスタートのタイミングスタート順とは別の配置とし密を避ける。

■ バイクラックの消毒

- 設営時に消毒用エタノールで清拭する。
- TR2 にて「キッズ/ジュニアの部」から「選手権の部」へ転換するときに、すべてのラックを消毒用エタノールで清拭する。

- トランジションエリア内での選手同士の会話
 - 原則禁止とする。会話している選手に対しては TO より自粛を促す。

8. バイク

- ドラフティング
 - <キッズ/ジュニア/一般の部>
 - 禁止とする。(COVID-19 対策の観点を追加して選手間の距離を確保するよう注意を促す。)
 - <選手権の部>
 - 許可する。
- リタイア選手・ラップ選手(選手権)の対応
 - TO がアンクルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
 - リタイア選手・ラップ選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。リタイア選手・ラップ選手にマスクを渡し着用を促す。予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する)
 - 選手はバイクを降りて、移動時にソーシャルディスタンスを確保するよう要請する。

9. ラン

- ランコースの設定
 - 選手同士が対面となることを最大限避けたコース設定とし、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 選手間での飲食物のやりとり
 - 禁止とする。
- リタイア選手の対応
 - TO がアンクルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
 - リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する)
 - 移動時にソーシャルディスタンスを確保するよう要請する。

10. エイドステーション

- エイドステーション担当 TO
 - 水を提供する TO と、ゴミを回収する TO は別のスタッフが担当する。
 - 使い捨て手袋を着用して業務する。
 - 随時手洗いを実施する。
- 消毒用エタノールの配置
 - 消毒用エタノールを配置し、随時消毒できるようにする。

- 選手への提供方法
 - TO が給水コップに水を注ぎ、テーブルに配置する。
 - 選手は自らコップをピックアップして補給する。
- ゴミの回収
 - 拡散を防止するため、ゴミ袋に余裕がある状態で早めに縛る。

11. フィニッシュ

- フィニッシュテープの使用
 - 各カテゴリーの 1 着の選手のみ使用する。
 - 繰り返してフィニッシュテープを使用しない。(カテゴリーごとに消毒する)
- フィニッシュ後の導線
 - スペースを広く確保し、一方通行の導線とする。
 - 選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を促す。
- アンクルバンドの回収
 - 選手が自ら外し、回収ボックスに投入する。
- 水の提供
 - 未開栓のペットボトルをテーブルに配置し、選手が自らピックアップする。
- マスクの配布
 - 袋に入ったマスクを 1 人 1 枚ずつ配布する。
 - TO が手渡しで配布する。
 - 担当する TO は、使い捨て手袋・フェイスシールドを着用する。
 - 手渡しする際には、選手と TO が直接接触しないよう十分に注意して対応する。
- 消毒用エタノールの配置
 - フィニッシュエリアに消毒用エタノールを配置し、選手・TO の手指の消毒実施を徹底する。

12. 更衣室

- 更衣室の消毒
 - 選手が触れる箇所を、定期的に消毒用エタノールで清拭する。
- 更衣室の換気
 - 定期的に換気する。

13. トイレ・手洗い場所

- 対象のトイレ
 - 東扇島東公園内の常設トイレ 4 か所に対して、感染防止対策を実施する。
 - ・トイレ 1：大会本部横 (担当：フィニッシュ TO)
 - ・トイレ 2：トランジション横 (担当：トランジション TO)
 - ・トイレ 3：ラン・プロムナード (担当：ラン TO)
 - ・トイレ 4：駐車場横 (担当：トランジション TO)



- トイレ内の消毒
 - トイレ使用者が触れる箇所を、1 時間に 1 回定期的に消毒用エタノールで清拭する。
 - 清拭箇所は、手洗い場の水道栓、回転式ドア鍵。
 - 定時(1 時間に 1 度)に、COVID-19 対策委員より消毒の指示を無線にて連絡し、各担当 TO が実施する。
- 消毒用エタノールの配置
 - トイレ入口に消毒用エタノールを配置し、選手・応援者・TO の手指の消毒実施を徹底する。
- 備品の配置
 - 手洗い場所に、石けん・手拭きペーパー、蓋付きのゴミ箱を用意する。
- 仮設トイレ
 - 本大会では感染防止の観点から仮設トイレを設置しない。

14. ゴミ廃棄

- 拡散の防止
 - マスク、手袋、使用済みティッシュペーパー、ペーパータオルなどを、確実にゴミ袋に収納する。
 - 拡散を防止するため、ゴミ袋に余裕がある状態で早めに縛る。
 - 収集したゴミ袋は、大会本部に集約する。

15. メディカルチーム

- メディカル体制
 - 医師 2 名、看護師 4 名をメディカルチームとして、大会本部に配置する。
- メディカルチームの服装
 - 防護服を着用し、感染防御医療材料を準備してメディカル対応する。

7. 注意事項

1. TO としての心得

- TO は尋ねられる。
⇒毎年、周回不足による DSQ が発生しています。また、周回オーバーする選手も多くいます。コース/周回数確認を促してください。
⇒レース開始時間、バイク・ランの周回数、トイレ・更衣室の場所、バイクピックアップ時間等答えられるよう、選手最終案内は事前に必ず目を通してください。
- TO は見られている。
⇒挨拶は率先して行いましょう。TO 一同様々なポイントで丁寧に解り易く競技者に接することを心がけてください。し
⇒業務以外の写真撮影は禁止です。
- 持ち場で起こり得ることを事前にシミュレーション。
⇒選手が転倒した場合、コースミスをした場合等、各自の持ち場で起こり得ることを想定し、対応を考えておいてください。
- 競技会場は貸切りではありません。一般の方も利用されます。協力をお願いするというスタンスで一般の方と接してください。
-

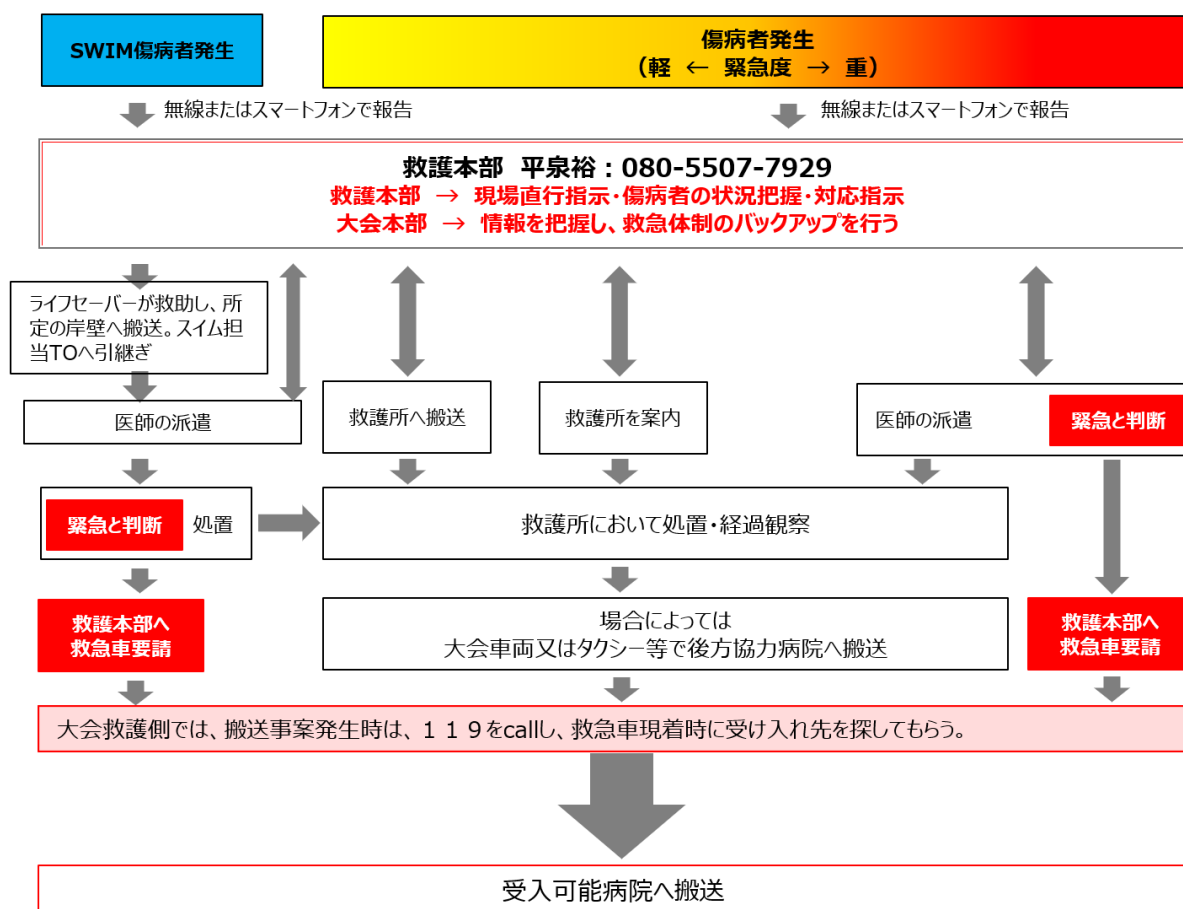
2. 注意事項

- 備品の持ち出しについて
⇒大会本部にて管理し、必要なパートへお渡しします。
⇒勝手に持ち出しすることのないよう、お願いいたします。

8. 緊急時の対応

- 安全は全てに優先します。
- 傷病者を発見したら、他の競技者への 2 次災害防止にも配慮し、様態の確認を行ってください。
- 傷病者が意識／呼吸のない場合は、直ちに「119 番通報」し大会本部へ無線連絡してください。
- それ以外の傷病者を発見した場合も、大会本部・救護本部に連絡しその指示に従って対応してください。
- 無線がない場合は、チーフかサブチーフまで連絡してください。

大会本部（杉浦 真由美） : 090-8485-0022
 救護本部（平泉 裕） : 080-5507-7929



緊急車両の導線



9. 競技規則(ローカルルール)

- 本大会は「日本トライアスロン連合競技規則/運営規則」及び以下の「ローカルルール」が適用されます。
- ルールに違反している選手を確認した場合の対応

カテゴリー	違反時の対応
キッズの部/ジュニアの部/一般の部	・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告
選手権の部	・HR へ報告し裁定を仰ぐ

1. 全般

- アクションカメラ (GoPro 等) を着用してレースに出場することはできない。バイクへの装着も不可。
- 「自転車」・「自転車(競技用)ヘルメット」・「自転車及びランニング用シューズ」は、大会当日に選手自身で持参すること。忘れた場合はレースには参加できない。(当日の貸し出しは無し)
- 選手への個人的援助は禁止。

2. 競技説明会

- 事前にオンライン競技説明会の動画をインターネット上に公開し、選手に視聴する形式とする。
- 動画の最後に合言葉を入れる。
- 大会当日の受付時に提出する「問診票」に合言葉を記載することで出席扱いとする。

3. スイム

- ウェットスーツの着用基準は以下の通り

カテゴリー	ウェットスーツの着用基準
キッズの部/ジュニアの部	着用不要 (着用しても良い)
一般の部	着用必須 ※ラッシュガードは不可 ※未着用の場合は参加をお断りする
選手権の部	水温 20.0℃以上 : 着用禁止 水温 16.0℃～19.9℃ : 着用許可 水温 15.9℃以下 : 着用必須 ※水温はスタートの 1 時間 10 分前に測定し、1 時間前に着用可否を発表する。 <女子> 測定 : 11:20、着用可否公表 : 11:30 <男子> 測定 : 12:50、着用可否公表 : 13:00 ※強風、大雨、温度変化など気象条件により、技術代表 (TD) とメディカル代表は、スイム距離やウェットスーツの使用可否を決定する。

- 選手権の部のスタートグリッド
 - 選手間のソーシャルディスタンスを 1m ずつ確保し、1 列に並んでスタートする一斉スタート形式とする。
 - 「く」の字に選手を整列させる。(第一ブイまでの距離の公平性を確保)

- スタートグリッドにはロープを準備。1m 間隔のテープにてグリッドを表示する。
- グリッドの選択は、選手権別にレースナンバーの若番(ランキング上位選手)から順に選択する。
 関東ブロック選手権：1～23
 東京都選手権：24～37



- レスチューブの使用については以下の通り
 - キッズの部/ジュニアの部/一般の部にて使用可能とする。
 - レスチューブを使用した選手は、DNFとする。
- ボディナンバリング
 - 選手のボディナンバリングは実施しない。(レースナンバーはスイムキャップの記載のみとする)
- スイムでは、支給されたスイムキャップを必ず着用
- 足ひれ、パドル等の推進補助具の使用は禁止
- 危険回避及び体調保全のため、コースロープにつかまり小休止することは可能。ただし歩いたり、コースロープ等をつかんで勢いをつけるなどは禁止
- 救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で振り、声を出して救助を求める。

4. バイク

- ドラフティングの扱いは以下の通り

カテゴリー	ドラフティングの扱い
キッズの部/ジュニアの部/一般の部	禁止 <ドラフティング違反時の対応> ・「イエローカード」を提示し、ストップ&ゴーのペナルティにて対応する。 *JTU 競技規則 第 108 条
選手権の部	許可

- バイク競技に使用する自転車は以下の通り

カテゴリー	自転車
キッズの部/ジュニアの部	ロードレーサー以外の自転車での参加可能
一般の部	ロードレーサー、TT バイク (左記以外の自転車では参加不可)
選手権の部	JTU 競技規則に準拠

※『固定ギヤ車』『ブレーキ無し車』など、競技者に危険を及ぼす恐れのある自転車の利用は厳禁

- ヘルメットは『自転車専用』を必ず着用。「カスク」「ヘッドギア」等の利用は厳禁。
- バイクでは上下ウェアを着用し、規定のヘルメットを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままで競技を行うことは禁止。
- バイク競技中、レースナンバーは背中によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
※ ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- バイク用レースナンバーシールは、ヘルメットの前面とバイクの右側に貼りつける。
- 交通規則を守り、表示看板、セイフティ・コーン、大会スタッフの指示に従って競技する。
- 小中学生の DH バーの装着は禁止。
- 走行中の「前方注意」「車間距離の確保」は選手義務。
- 「キープレフト(左側走行)」にて競技する。(左端から 1m、コース幅の左側 3 分の 1 以内を基準)
- 追い越しは、後方確認し前走者の右側から行う。
- ドラフティングゾーンは**前方選手の前輪先端から後方 10m**の範囲。バイクは約 2m であるため、4 台分の車間距離。
- 他競技者のドラフティングゾーンに入れるのは、「追い越そうとしているとき(20 秒以内)」、「危険回避の場合」、「トランジション出入り口」など。
- 追い越し中は追い抜く意思を持って「前進」している必要がある。そのため、ドラフティングゾーン内では、前走の競技者と同一スピードを保ったままではならない。また、追い越されたらすぐに抜き返したり背後についてはならない。
- バイクパートでは、エイドステーション無し。
- 「ペットボトル」をバイクボトルホルダーに入れて競技を行うことは禁止。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- バイクの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。
- 周回数確認は選手自身で行う。周回チェックポイントでは、自身の周回数をスタッフに確認することはできない。
- 周回数確認のため、サイクルメーターの装着を推奨する。

5. ラン

- ランでは上下ウェアを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままで競技を行うことは禁止。
- ランではシューズを着用すること。「裸足」での競技禁止。
- ラン競技中、レースナンバーは前面によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
※ ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- 自力走行により、規定コースを競技する。

- キープレフトを厳守し、右側から追い越す。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- スマートフォンを携帯して競技することは、GPS として使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- ランの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。

6. トランジション

- トランジションのタイムは以下の通り扱う

カテゴリー	トランジションタイムの扱い
キッズの部/ジュニアの部/一般の部	・T1/T2 のタイムを総合タイムから除外する ※選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を要請する。
選手権の部	・T1/T2 のタイムを総合タイムに含む。(タイムを除外しない)

- トランジションエリア内に、競技者および特別に許可を受けた者以外の立入禁止。保護者、ご家族、応援者の方が入ることはできない。
- バイクラックに目印をつけることは禁止。
※ トランジションエリアにセットするもの：自転車、ヘルメット、シャツ、シューズ、帽子、タオルなど
- ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外す。
- トランジションエリア内はバイク乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- バイクの乗車・降車の方法は下記のとおり。
<乗車> バイク前輪の先端が乗車ラインを超え、片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車する。
<降車> バイク前輪の先端が降車ラインを超える前に、降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車する。

7. フィニッシュ

- フィニッシュにおける意図的な同着は禁止。
- 同伴フィニッシュは禁止。
- 着順は、計測チップがフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- 複数の競技者が同時にフィニッシュする場合は、フィニッシュ TO が判定を行う。
※ 競技者の胴体の一部がフィニッシュラインを通過した瞬間を判定する。
- 明らかに周回不足と判断される場合には完走扱いとしない。
- 周回数が規定数以上の場合(多く周回してしまった場合)でも順位の繰り上げ措置は実施しない。

8. その他大会ルール

- 荷物預かりは車の鍵のみ。大会本部にて預かる。
- 荷物は基本的に個人にて管理する。
- 貴重品預かりはなし。
※ どうしても荷物を置く場所が無いと選手から問い合わせがあった場合のみ、トランジションの隅の荷物置き場に誘導する。
大会にて責任は負えない旨を説明する。

10. TO 業務

1. TO 共通事項

■ ミーティング関連

- 1) 競技開始前(TO 集合時)
TO ミーティング参加。 ※当日 06:00 の TO ミーティングは、パート毎にチーフが取りまとめて実施する。
- 2) 競技終了後
TO ミーティング参加、審判結果報告。

■ 運営関連

- 1) コース設営確認・セッティング
各ポジションの配置についたら、コースの設営状況を確認し、必要に応じて競技実施の観点からコーンや案内板などのセッティングをしてください。

■ 競技関連

- 1) ルール違反に対する対応
注意/警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を詳細に記録してください。その後、審判長に報告し裁定を待ってください。
- 2) 計測・周回確認
計測はアンクルバンドで行います。
個人の周回確認は自己責任で行うよう回答してください。
- 3) リタイア時の対応
リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収してください。
TO はアンクルバンドを直接触れず、ビニール袋へ入れて封をして下さい。
選手へはフィニッシュエリアへ戻りマスクを受け取るよう指示してください
大会本部に無線もしくは携帯電話にてレースナンバーをリタイア理由と共に報告し、競技終了後アンクルバンドを返却してください。
- 4) 競技規則・ローカルルール
JTU 競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技運営します。
- 5) パラ選手対応
一般の部にて、パラ選手が 1 名出場します。(中山賢史朗選手(左足大腿部切断))。
スイムにおいては、スイムアップエリアへの松葉杖の設置のサポートをお願いします。
トランジションエリアにおいては、パイプ椅子を配置し専用エリアを設置して下さい。
その他、サポート無しで競技しますので、原則として特別な対応は不要です。

2. 審判長(HR)

■ 担当業務

- 1) 審判団統括
- 2) TO ミーティングの招集と統括
- 3) 競技開始前の競技説明
- 4) スターター
- 5) 競技記録の確認及び承認。選手を呼んで直接確認。
- 6) TO ミーティングでの競技規則違反者裁定(警告/失格)と公表

3. スイム

<担当業務>

No	業務	詳細
1	水温の計測	<ul style="list-style-type: none"> ・TD 立ち会いにて水温を計測 07:40 : キッズ/ジュニア/一般の部 11:20 : 選手権の部(エリート女子) 12:50 : 選手権の部(エリート男子)
2	スイムコース設営	<ul style="list-style-type: none"> ・スイムエリアの設営、カテゴリー別のコース転換 ・トランジションへの導線設営、スイムエリアの清掃 ・ブイ設営サポート、計測ポイント確認 ・消毒用エタノールの配置 ・競技終了後の撤収
3	スイム受付	<ul style="list-style-type: none"> ・アンクルバンド配布、入水人数の確認 ・待機選手のソーシャルディスタンス確保・整列
4	試泳の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入水タイミングのコントロール ・待機選手のソーシャルディスタンス確保・整列
5	マスク廃棄管理	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク廃棄用のゴミ箱の管理 (入水前に選手が自らゴミ箱へ捨てる)
6	スタート管理	<p><キッズ/ジュニア/一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイミングスタートのコントロール (8 秒ごとに 1 人ずつスタート) ※スタートの計測マットの 5m 以上後方から選手をスタートさせる。 (計測マットの誤反応を防ぐため) <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートグリッドの記録 ・スタートビデオの撮影 (フォールス・スタートの監視)
7	スイム競技審判	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反時の対応 <p><キッズ/ジュニア/一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告 <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HR へ報告し裁定を仰ぐ
8	水上監視	<ul style="list-style-type: none"> ・IRB に乗船し水上監視 (安全管理、ショートカット確認) *水上でのビデオ撮影は実施しない
9	出水人数確認	<ul style="list-style-type: none"> ・リタイア・タイムオーバー選手を把握し、出水人数を確認する。
10	スイムアップ後のコントロール	<p><キッズ/ジュニアの部> *砂浜の計測マット通過後のタイムを除外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩での移動を促し、選手間のソーシャルディスタンスをコントロール <p><一般の部> *トランジションエリア入口までスイムパートとしてタイムを計測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランジションエリア(TR1)までの導線コントロール <p><選手権の部> *タイムを除外しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランジションエリア(TR2)までの導線コントロール
11	エイドステーション管理	<ul style="list-style-type: none"> ・スイムアップ後のエリアに 1 か所設置 (コース図参照) ・エイドステーション設置場所は、カテゴリー毎に変更する。 キッズ/ジュニア/選手権の部 : スロープ上 一般の部 : トランジションエリア内

		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒用エタノールの配置 ・COVID-19 感染対策として、下記の実施とする。 紙コップへ水を入れてテーブルに置き、選手が自らピックアップする。 紙コップへの給水と紙コップ回収は担当を分けて対応する。
12	リタイア選手対応	<p><マスク着用の依頼></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <p><アングルバンドの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TO がアングルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
13	救護対応	<ul style="list-style-type: none"> ・救護を要する選手をライフセーバーから救護用の岸壁にて引き受ける。 ・選手に触れる場合は手袋を着用する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
14	応援者のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・応援者が競技エリアへ入らないようコントロールする。 ・応援者同士のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

4. バイク

<担当業務>

No	業務	詳細
1	モーターバイクの管理・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・バイク TO 用のモーターバイクの管理と運用 (大会側で 3 台レンタル) <p><モーターバイク(3 台)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先導用：125cc ・カットオフ用：250cc (選手権の部にてバイクチーフが後部に乗車) ・緊急用：125cc
2	バイクコース設営・撤収	<ul style="list-style-type: none"> ・バイクコースの設営、カテゴリー別のコース転換 ・応援者が多く集まるバイク乗降車エリア付近に、2m ほどの白線を引く ・競技終了後の撤収
3	先導	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの先頭選手をモーターバイクで先導する。 ・無線で情報を連絡する。
4	最終選手の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの最終選手を確認し、無線で情報を連絡する。
5	危険箇所の誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・バイクコース上の危険箇所にて、選手の誘導を厳重に実施する。 <p>※例年、バイクコース上に駐車トラックが数台有り。</p> <p>⇒カラーコーンを設置して明確な誘導・注意喚起をする。</p> <p>⇒当日危険箇所を確認し、必要に応じて TO を配置する。</p>
6	危険走行・キープレフトのチェック	<ul style="list-style-type: none"> ・危険走行・キープレフトが遵守できていない選手へ注意し是正を促す <p>※原則として声を出さず、ホイッスルとジェスチャーで注意を促す。</p>
7	ドラフティングのチェック	<キッズ/ジュニア/一般の部> *ドラフティング禁止

		<ul style="list-style-type: none"> ・ドラフティング違反に対しては「イエローカード」を提示し、ストップ&ゴーのペナルティにて対応する。(JTU 競技規則 第 108 条) <p><選手権の部> *ドラフティング許可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応不要
8	バイク競技審判	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反時の対応 <p><キッズ/ジュニア/一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告 <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HR へ報告し裁定を仰ぐ
9	ホイールステーション管理	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権の部にて、ホイールステーションの管理を実施する。 ・選手からのホイール預託、返却対応 ・競技中のホイール交換対応
10	ラップオーディター対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権の部にて周回管理し、選手向けにラップボードを掲示する。
11	リタイア選手・ラップ選手(選手権)対応	<p><マスク着用の依頼></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア選手・ラップ選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手・ラップ選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <p><アンクルバンドの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TO がアンクルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
12	救護対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
13	応援者のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート

5. ラン

<担当業務>

No	業務	詳細
1	受付導線設営・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・大会本部エリアの受付の導線を設営する。 <p><受付時間></p> <p>キッズ/ジュニア/一般の部 : 07:15~08:30</p> <p>選手権の部 : 09:00~10:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付時の選手・応援者の整列を促し、ソーシャルディスタンスを確保する。
2	ランコース設営・撤収	<ul style="list-style-type: none"> ・ランコースの設営、カテゴリー別のコース転換 ・応援者が多く集まるトランジション出口・フィニッシュエリア付近に、2m ごとの白線を引く ・競技終了後の撤収
3	先導	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの先頭選手を自転車で先導する。 ・無線で情報を連絡する。

4	最終選手の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの最終選手を確認し、自転車で最後尾を追尾する。 ・無線で情報を連絡する。
5	ラン競技審判	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反時の対応 <p><キッズ/ジュニア/一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告 <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HR へ報告し裁定を仰ぐ
6	エイドステーション管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ラン・プロムナード上に 1 カ所設置 (コース図参照) ・消毒用エタノールの配置 ・COVID-19 感染対策として、下記の実施とする。 <p>紙コップへ水を入れてテーブルに置き、選手が自らピックアップする。</p> <p>紙コップへの給水と紙コップ回収は担当を分けて対応する。</p>
7	トイレの消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・定時(1 時間に 1 度)に、COVID-19 感染対策として消毒する。 <p><対象のトイレ(1 カ所)></p> <p>トイレ 3 : ラン・プロムナード</p>
8	リタイア選手対応	<p><マスク着用の依頼></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <p><アンクルバンドの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TO がアンクルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
9	救護対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
10	応援者のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・応援者が競技エリアへ入らないようコントロールする。 ・応援者同士のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

6. トランジション

<担当業務>

No	業務	詳細
1	トランジションエリア設営	<ul style="list-style-type: none"> ・トランジション内及び隣接エリアの設営 <p>(コーン・バーの設置及び看板・ガムテープ表示等の設営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒用エタノールの配置(TR1,TR2 それぞれの出入り口) ・1 つのバイクラックに対して、両掛けは 5 台、片掛けは 3 台とする。 ・危険な箇所を確認した場合には、安全が確保できるよう設営する。 <p><パラ選手対応> *一般の部 : 1 名(左足大腿部切断、片足義足)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な広さの確保。(選手の競技用義足・松葉杖の設置に必要)

		<ul style="list-style-type: none"> ・パイプ椅子の設置。 ・選手権の部ではカゴを設置する。 ※強風で設置出来ない場合は、50cm のエリアを白線で表示する。 ・競技終了後の撤収
2	トランジションオープン時間管理	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブルに従って、トランジションをオープンする。 ・バイクピックアップのオープン時刻を、タイムテーブルを基準にコントロールする。 (レース状況を確認してチーフが最終判断し、MC へ放送を依頼する。)
3	トランジション入場者管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入場待機エリアを設定する。 ・ソーシャルディスタンスを確保して整列し、1 人ずつ入場できるようにする。 ・受付完了者のみ入場可能とする。(リストバンドの着用を確認する) ・競技者および特別に許可を受けた者以外の立入を禁止する。 (原則として、保護者、ご家族、応援者の立入は禁止)
4	バイク・ヘルメットチェック	<p><キッズ/ジュニア/一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目視でのバイクチェックを基本とする。(ブレーキ、突起物、ストラップ確認等) ・スマートフォンの確認 GPS/サイクルメーターとして使用する場合のみ装着可能 装着する場合は、「通話・撮影はできない」ことを伝える <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目視でのバイクチェックを基本とする。 ・DH バーの確認は確認用ボードを使用する。 <p>※やむを得ずバイク・ヘルメットを触れた場合は、都度消毒を実施する。</p>
5	ペットボトルの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトルホルダーにペットボトルを装着している場合には、外すよう指示する。 ・選手がいない場合は、TO が取り外す。
6	トランジションエリア内管理	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の禁止を徹底する。会話している選手に対しては TO より自粛を促す。 <p><キッズ/ジュニア/一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技中の選手へソーシャルディスタンスを確保し、落ち着いた行動を促す。 (トランジションタイムは総合タイムから除外される) <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティ対象の違反を確認した場合は、レースナンバーを記録し HR へ報告する。 ・ペナルティ対象となる証拠の写真を撮影する。
7	バイクピックアップ入場者管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入場待機エリアを設定する。(バイクチェックイン時と同様の設定) ・ソーシャルディスタンスを確保して整列し、1 人ずつ入場できるようにする。 ・受付完了者のみ入場可能とする。(リストバンドの着用を確認する) ・バイクピックアップにて、レースナンバーを照合する。
8	バイク乗車・降車ライン管理	<ul style="list-style-type: none"> ・バイク乗車・降車ラインにて、選手へ注意を促す。
9	ペナルティボックス対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権の部にて、ペナルティボックス対応する。(2 名) ・HR と連携し、ペナルティ発生時のレースナンバー・違反記号を掲示する。 ・ペナルティボックスにて停止した選手のペナルティタイムを計測する。 (ペナルティ 1 件に対して 10 秒。)
10	横断路管理	<ul style="list-style-type: none"> ・横断路のコントロールを行う。 <p><対象の横断路(3 カ所)></p>

		TR1 トイレ側横断路 ×2 カ所 TR2 ランスタート側横断路 x1 カ所
11	バイクラックの消毒	・バイクラック設営時に、消毒用エタノールで清拭する。 ・TR2 にて「キッズ ジュニアの部」から「選手権の部」へ転換するときに、すべてのラックを消毒用エタノールで清拭する。
12	トイレの消毒	・定時(1 時間に 1 度)に、COVID-19 感染対策として消毒する。 <対象のトイレ> トイレ 2：トランジション横 トイレ 4：駐車場横
13	更衣室管理	・定時(1 時間に 1 度)に、COVID-19 感染対策として消毒する。 ・定期的に換気する。
14	リタイア選手対応	<マスク着用の依頼> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <アンクルバンドの回収> ・TO がアンクルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
15	救護対応	・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
16	応援者のコントロール	・応援者がトランジションエリアへ入らないようコントロールする。 ・トランジションエリア周辺にて、応援者同士のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

7. フィニッシュ

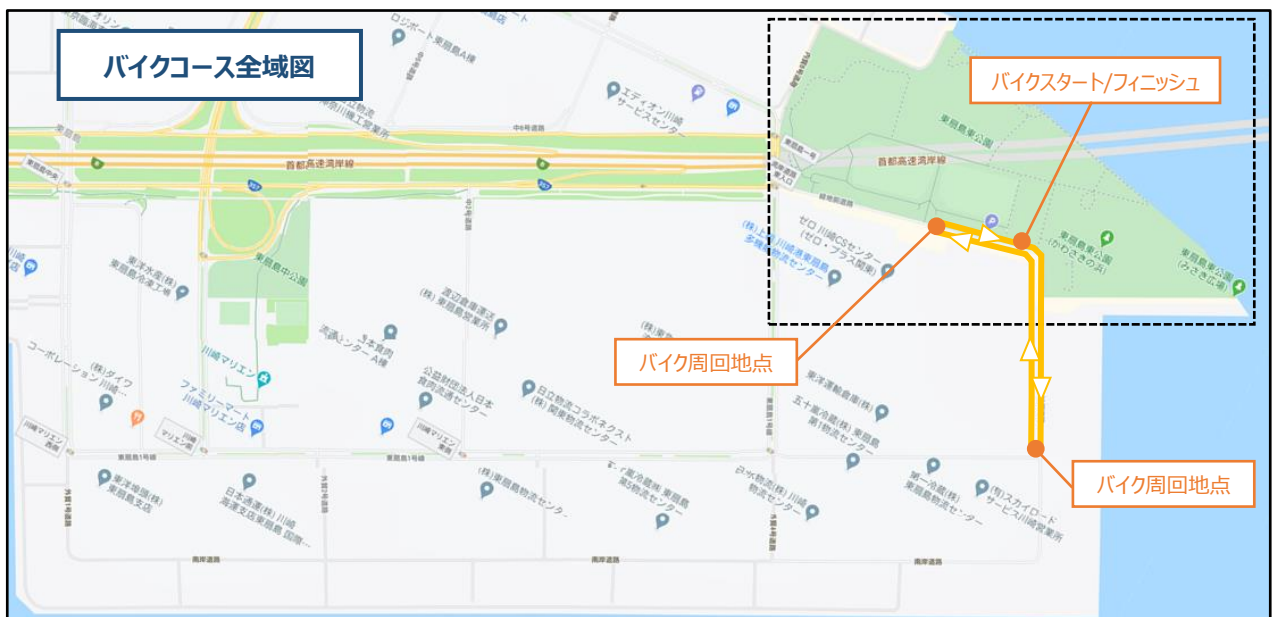
<担当業務>

No	業務	詳細
1	フィニッシュエリア設営・撤収	・フィニッシュエリアの設営 (関係者以外、立入出来ないよう設営する) ・消毒用エタノールの配置 ・カメラマンの撮影用エリアを確保する。 ・フィニッシュゲート通過後に、十分な広さを確保する。 ・「アンクルバンド回収」「水の提供」「マスクの配布」のエリアを設置する。 ・選手が一方通行となる導線を設定する。 ・応援者が多く集まるバイク乗降車エリア付近に、2m ごとの白線を引く ・競技終了後の撤収
2	フィニッシュストレート管理	・フィニッシュ前の周回分岐のコントロールをする。 ・同伴フィニッシュ禁止のコントロールをする。 ・「レースナンバーは前へ」「サングラスは外す」を促す。 (TO を配置出来る場合は、声を出さずにジェスチャーで促す。)

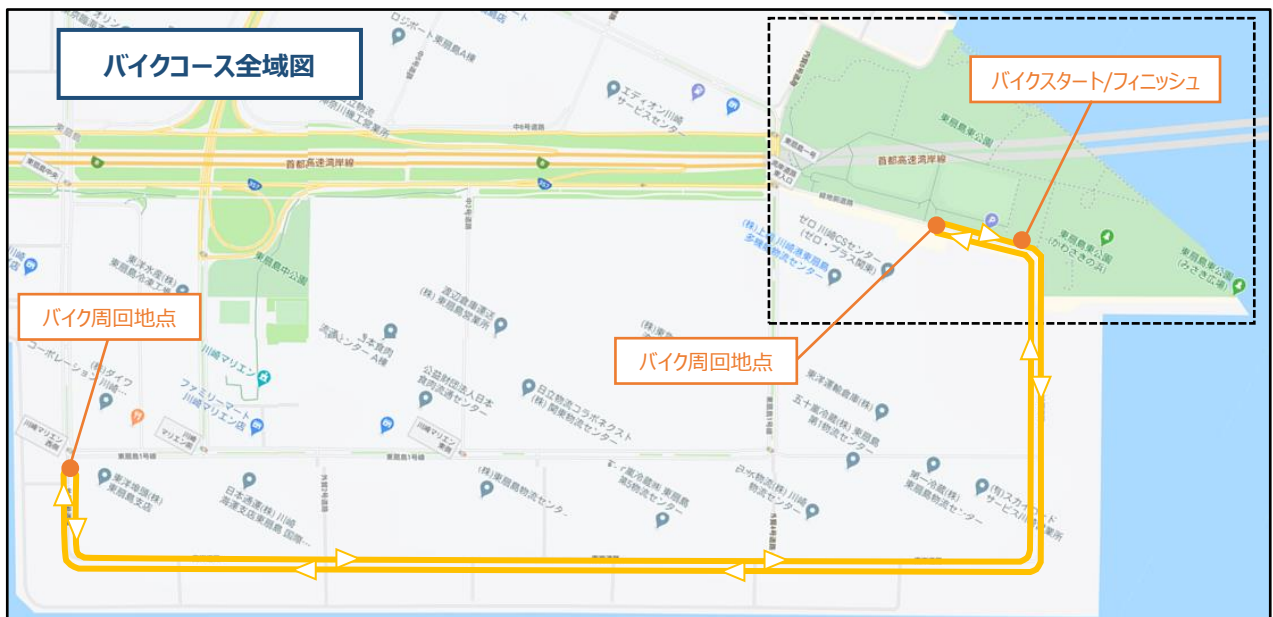
3	着順判定・記録	・フィニッシュライン上で、着順判定を実施し記録する。
4	フィニッシュテープ管理	・各カテゴリーの 1 着の選手のみ使用する。 ・繰り返してフィニッシュテープを使用しない。(カテゴリーごとに消毒する)
5	フィニッシュエリア管理	・一方通行の導線をコントロールする。 ・選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を促す。
6	アンクルバンド回収	・選手が自ら外し、回収ボックスに投入する。
7	水の提供 (ペットボトル)	・未開栓のペットボトルをテーブルに配置し、選手が自らピックアップする。
8	マスクの配布	・袋に入ったマスクを 1 人 1 枚ずつ配布する。 ・TO が手渡しで配布する。 ・担当する TO は、使い捨て手袋・フェイスシールドを着用する。 ・手渡しする際には、選手と TO が直接接触しないよう十分に注意して対応する。
9	受付サポート	・選手・応援者受付(07:15~08:15)の繁忙時に、受付のサポートを実施する。
10	横断路管理	・横断路のコントロールを行う。 <対象の横断路(1カ所)> 大会本部・トイレ横 x1カ所
11	トイレの消毒	・定時(1時間に1度)に、COVID-19 感染対策として消毒する。 <対象のトイレ(1カ所)> トイレ 1 : 大会本部横
12	救護対応	・選手を触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
13	応援者のコントロール	・応援者がフィニッシュエリアへ入らないようコントロールする。 ・フィニッシュエリア周辺にて、応援者同士のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

11. コース図

1. キッズ・低学年の部 (小学 1-3 年)



3. ジュニアの部 (中学生)



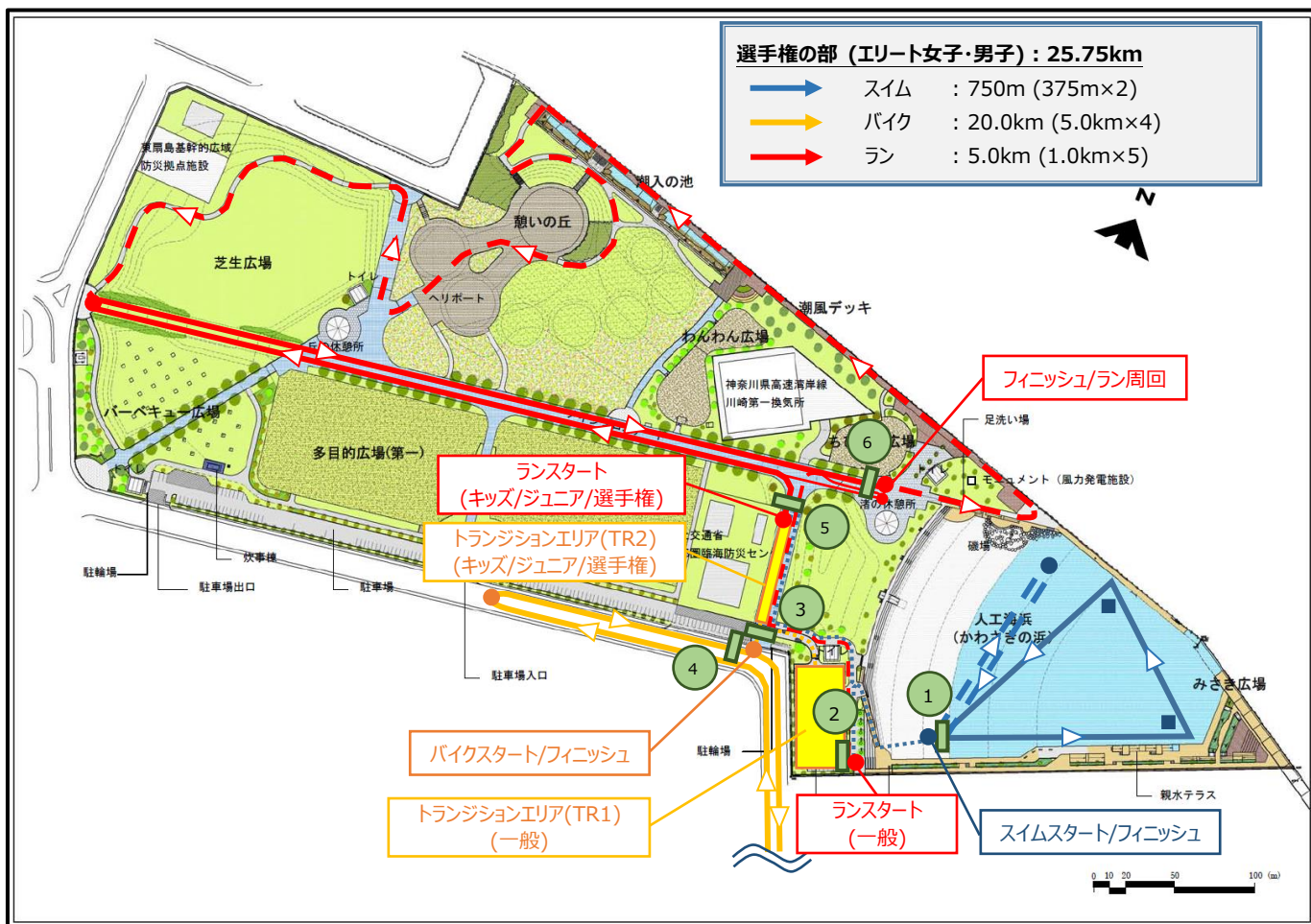
12. 計測ポイント

<トランジションタイムの計測> *T1(スイム→バイク) / T2(バイク→ラン)

- ・キッズ・ジュニア・一般 : T1/T2 タイムを除外
- ・選手権の部 : T1/T2 タイムを含 (タイムを除外しない)

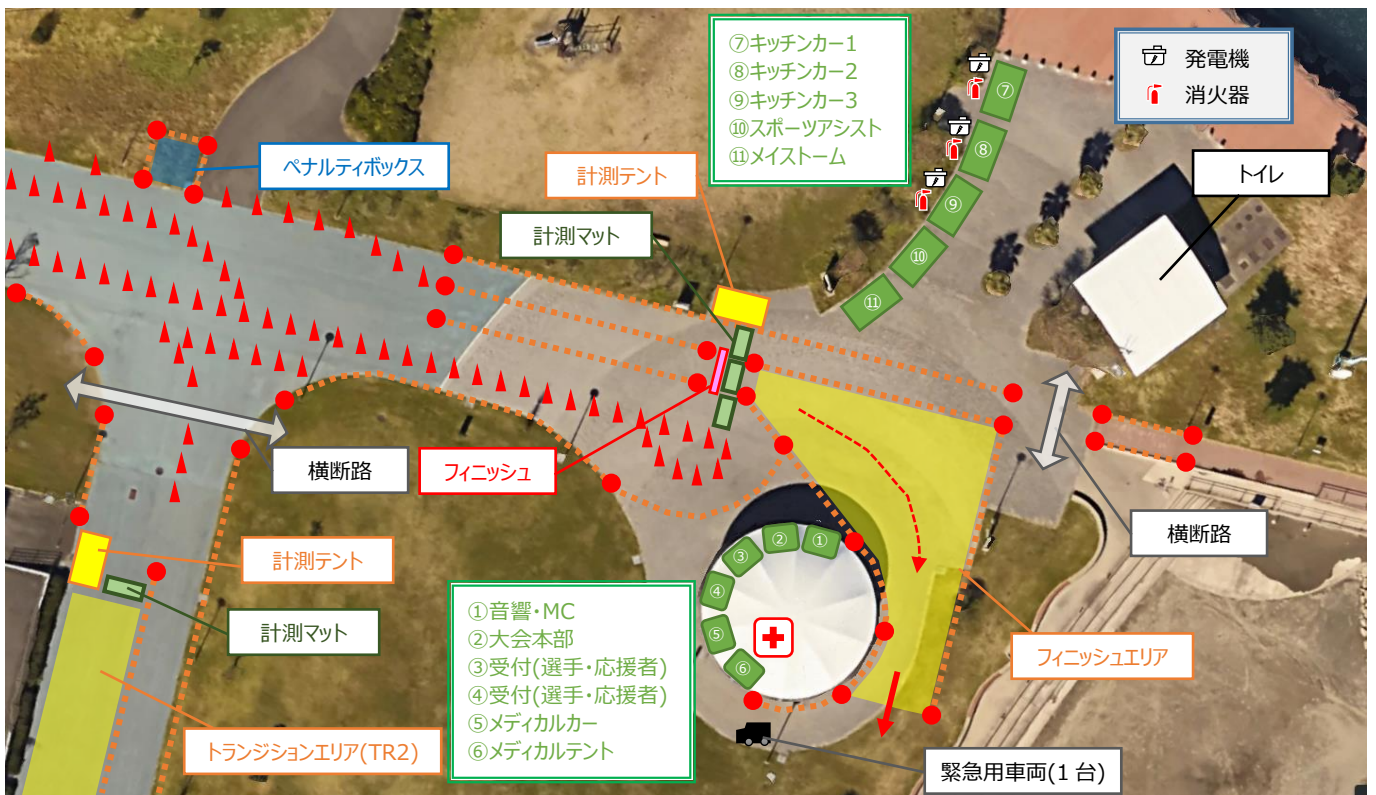
※TR2(キッズ・ジュニア・選手権)は、スイムフィニッシュ後、ランスタート側(下図の上側)から入り、バイクスタート側へ出る

No	計測ポイント	T1/T2 タイム除外				T1/T2 タイム含む
		キッズ・低学年の部	キッズ・高学年の部	ジュニアの部	一般の部	選手権の部
1	スイムスタート地点	スイムスタート スイムフィニッシュ	スイムスタート スイムフィニッシュ	スイムスタート スイムフィニッシュ	スイムスタート スイム周回	-
2	TR1・ランスタート側	-	-	-	スイムフィニッシュ ランスタート	-
3	TR2・バイクスタート側	バイクスタート	バイクスタート	バイクスタート	バイクスタート	バイクスタート
4	バイク周回	バイクフィニッシュ	バイク周回 バイクフィニッシュ	バイクフィニッシュ	バイク周回 バイクフィニッシュ	バイク周回 バイクフィニッシュ
5	TR2・ランスタート側	ランスタート	ランスタート	ランスタート	-	スイムフィニッシュ ランスタート
6	フィニッシュ	ランフィニッシュ	ランフィニッシュ	ランフィニッシュ ラン周回	ランフィニッシュ ラン周回	ランフィニッシュ ラン周回



13. エリア詳細図

1. 大会本部エリア詳細図



※上図のカラーコーン配置は「キッズ/ジュニア/選手権の部」競技時の設置イメージ。
 ※「一般の部」の競技時は、カラーコーンの配置転換が必要。(参照：コース詳細図)

2. 受付導線図

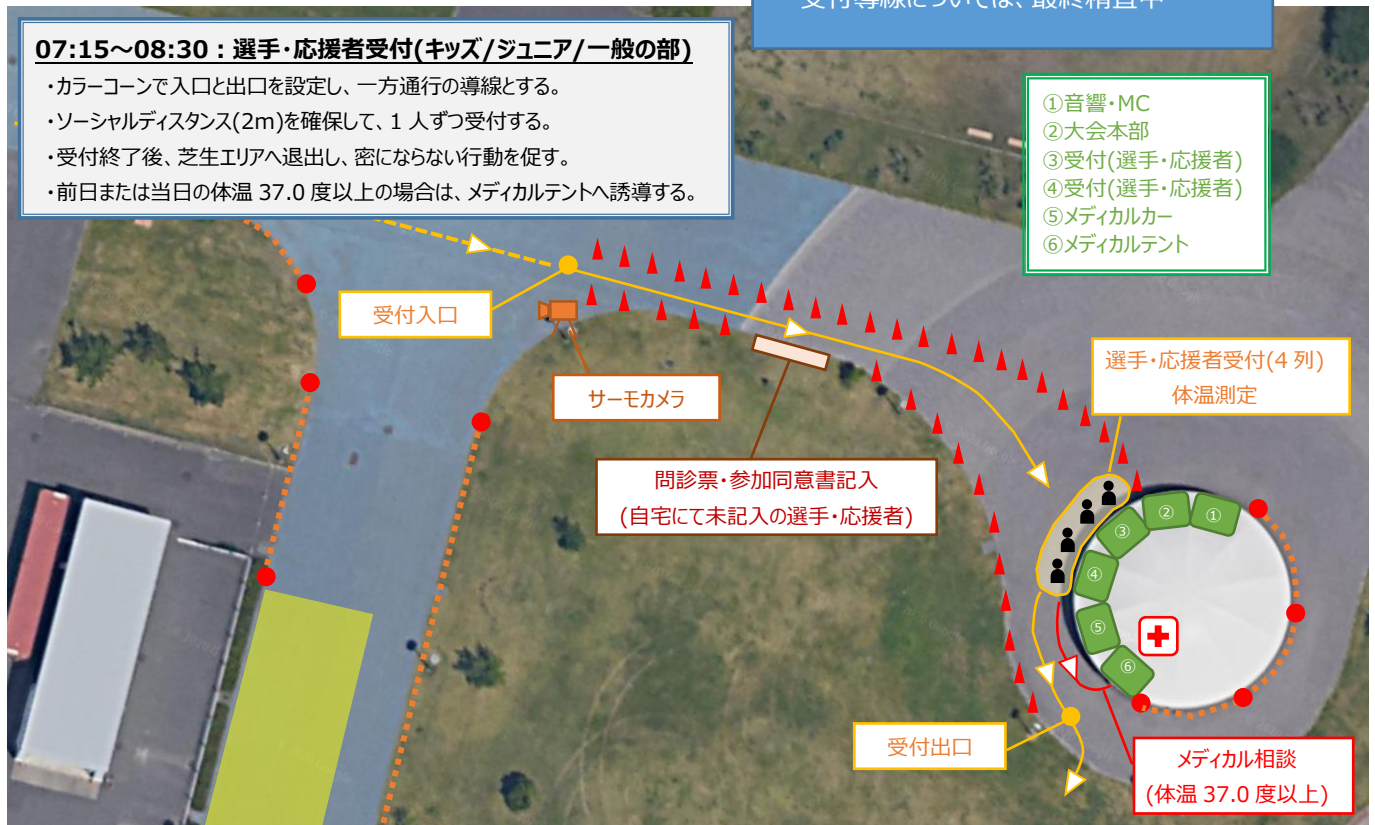
(9/25 時点)

・受付導線については、最終精査中

07:15~08:30 : 選手・応援者受付(キッズ/ジュニア/一般の部)

- ・カラーコーンで入口と出口を設定し、一方通行の導線とする。
- ・ソーシャルディスタンス(2m)を確保して、1 人ずつ受付する。
- ・受付終了後、芝生エリアへ退出し、密にならない行動を促す。
- ・前日または当日の体温 37.0 度以上の場合、メディカルテントへ誘導する。

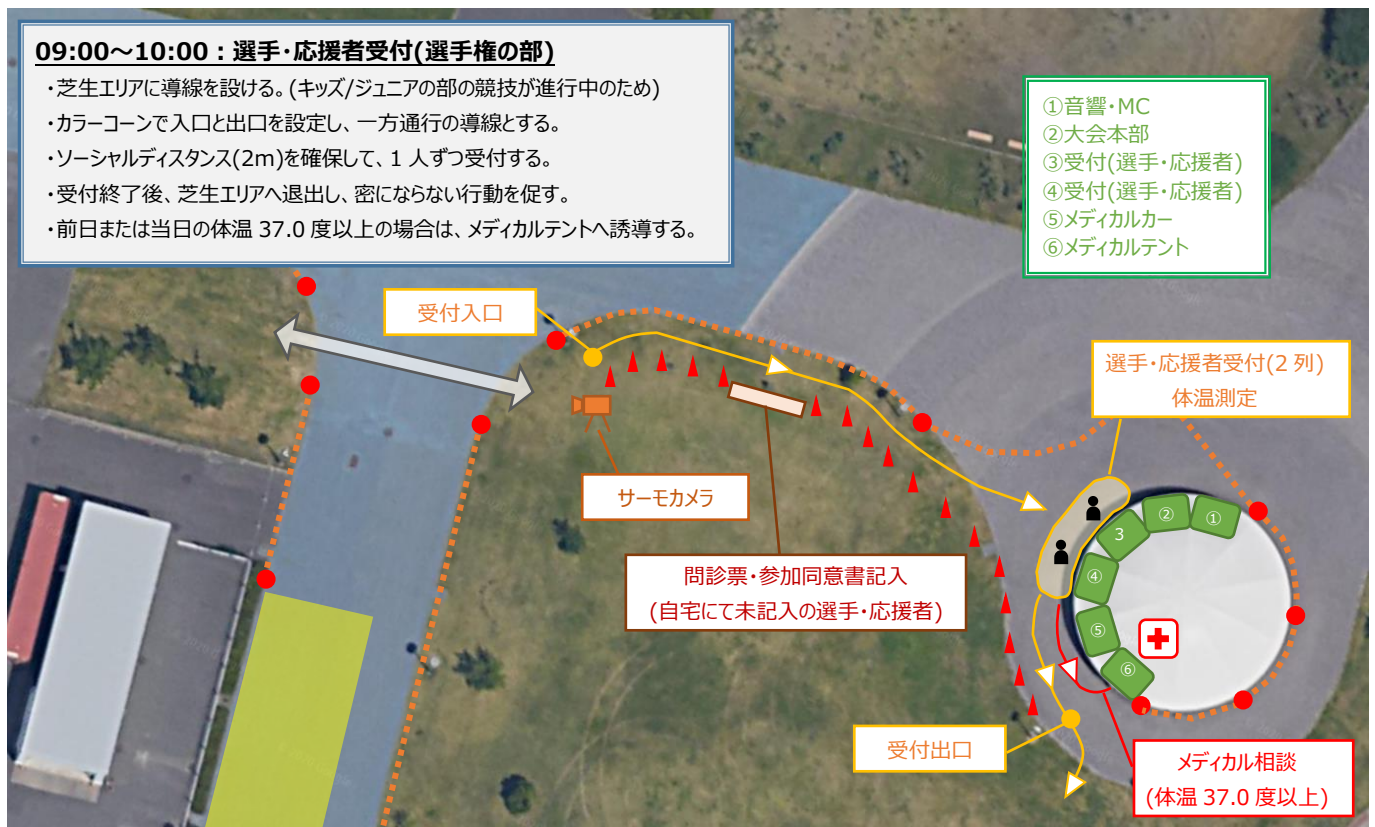
- ①音響・MC
- ②大会本部
- ③受付(選手・応援者)
- ④受付(選手・応援者)
- ⑤メディカルカー
- ⑥メディカルテント



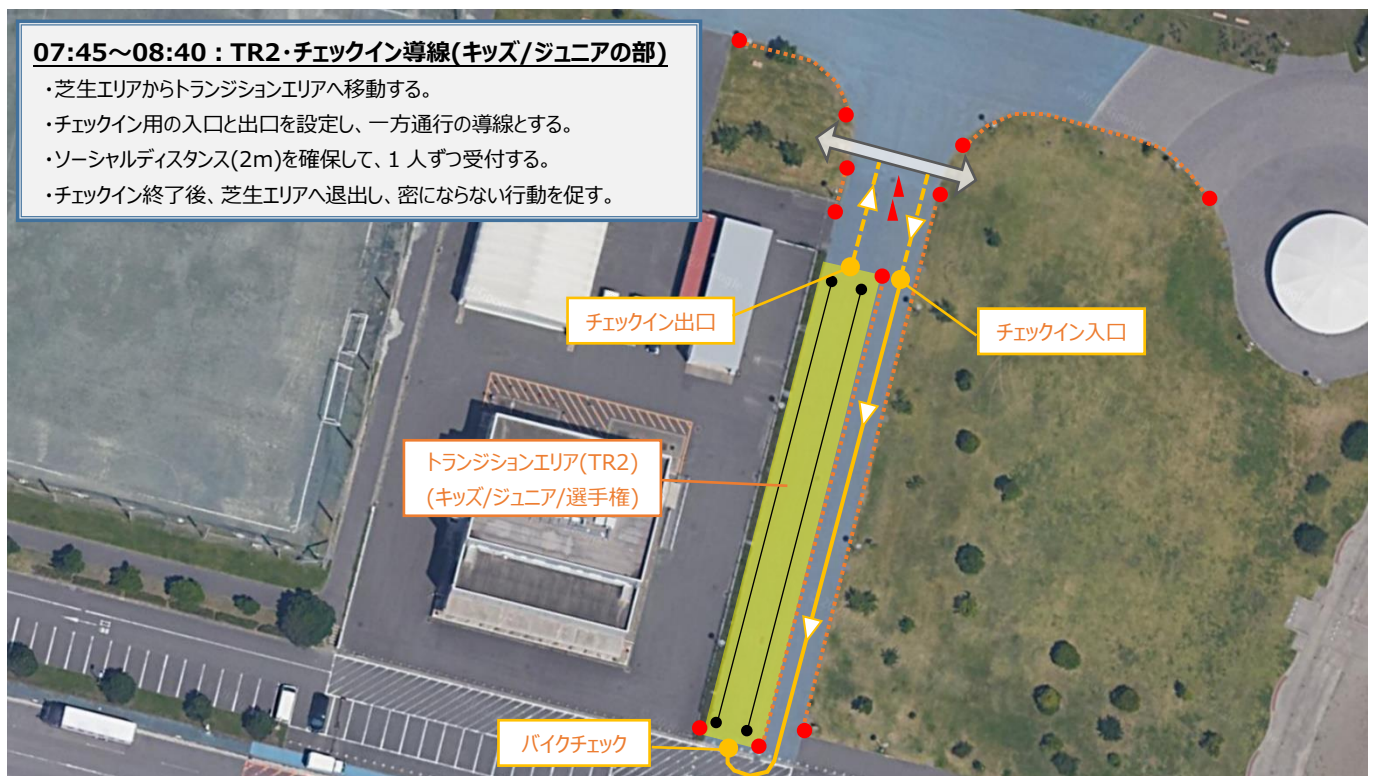
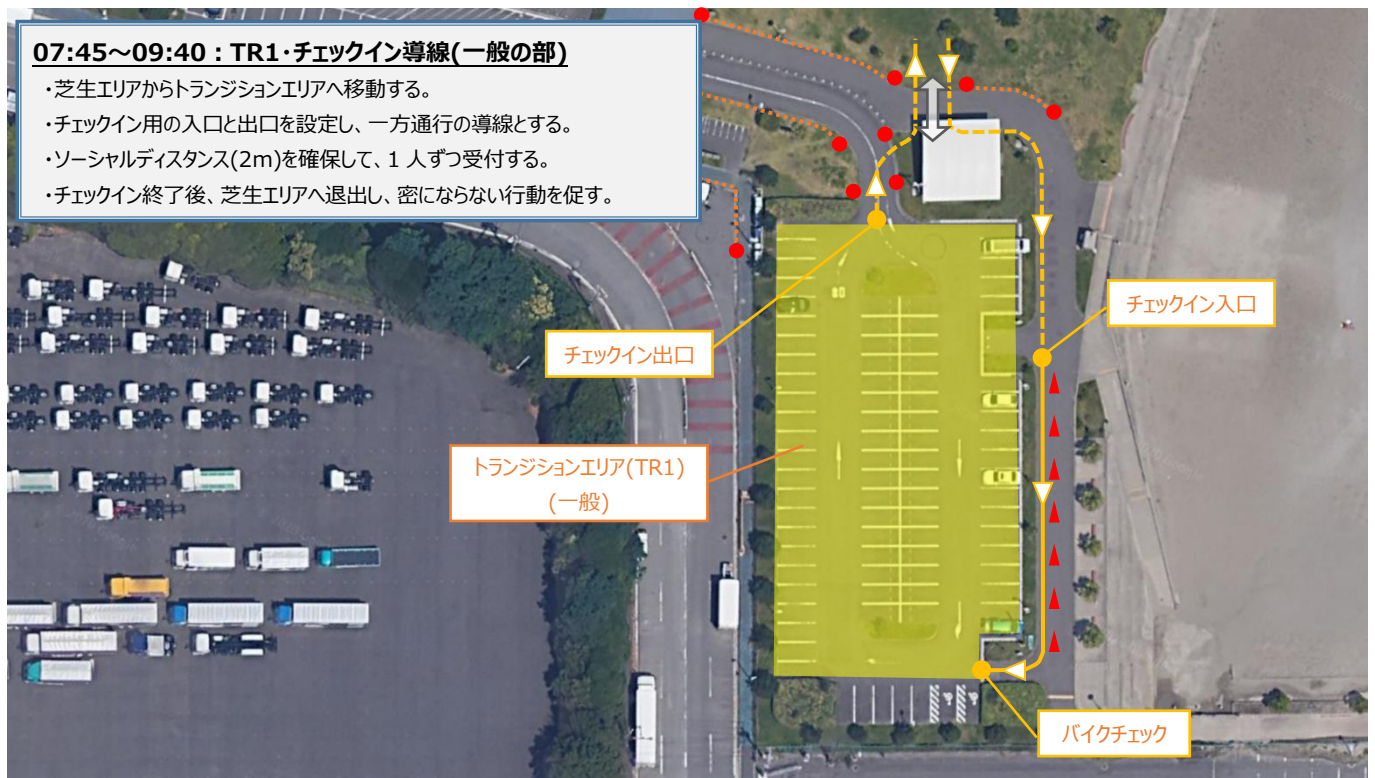
09:00~10:00 : 選手・応援者受付(選手権の部)

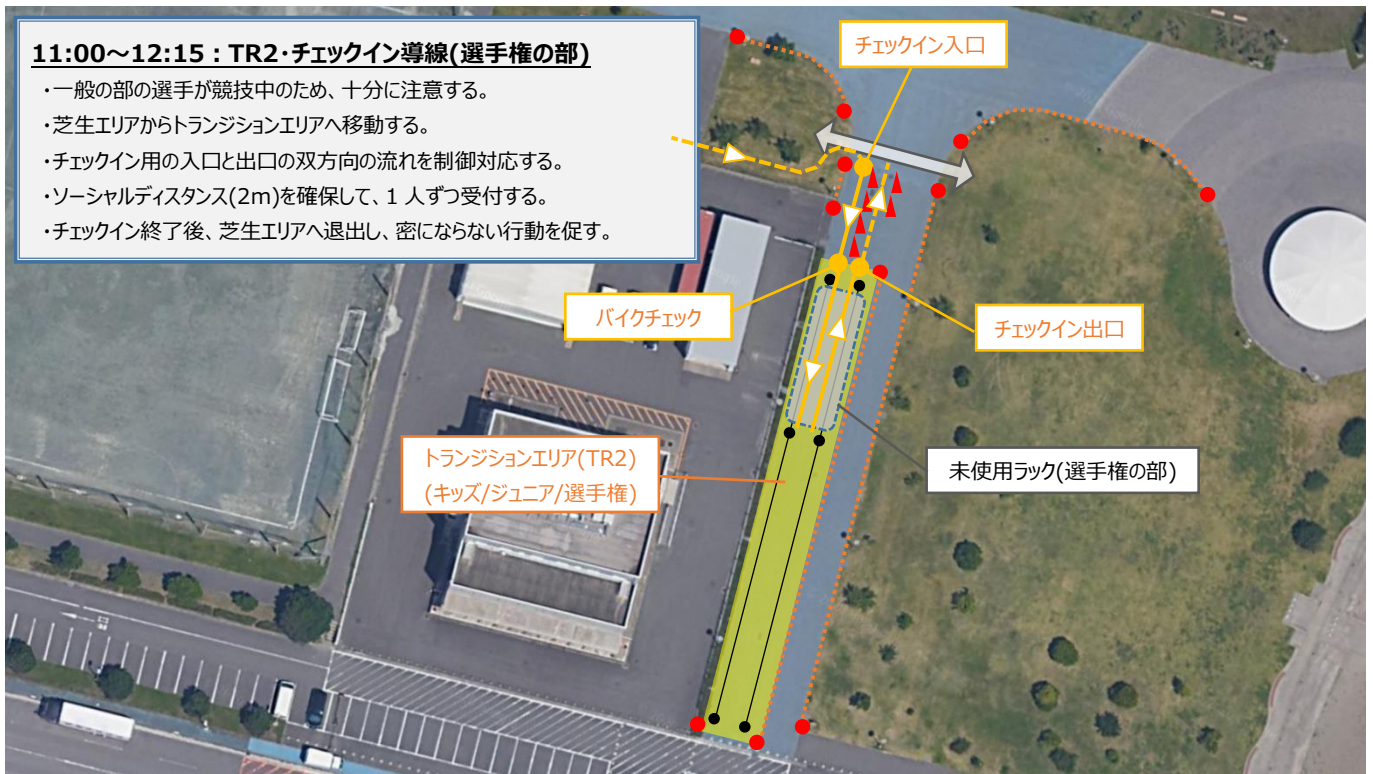
- ・芝生エリアに導線を設ける。(キッズ/ジュニアの部の競技が進行中のため)
- ・カラーコーンで入口と出口を設定し、一方通行の導線とする。
- ・ソーシャルディスタンス(2m)を確保して、1 人ずつ受付する。
- ・受付終了後、芝生エリアへ退出し、密にならない行動を促す。
- ・前日または当日の体温 37.0 度以上の場合、メディカルテントへ誘導する。

- ①音響・MC
- ②大会本部
- ③受付(選手・応援者)
- ④受付(選手・応援者)
- ⑤メディカルカー
- ⑥メディカルテント



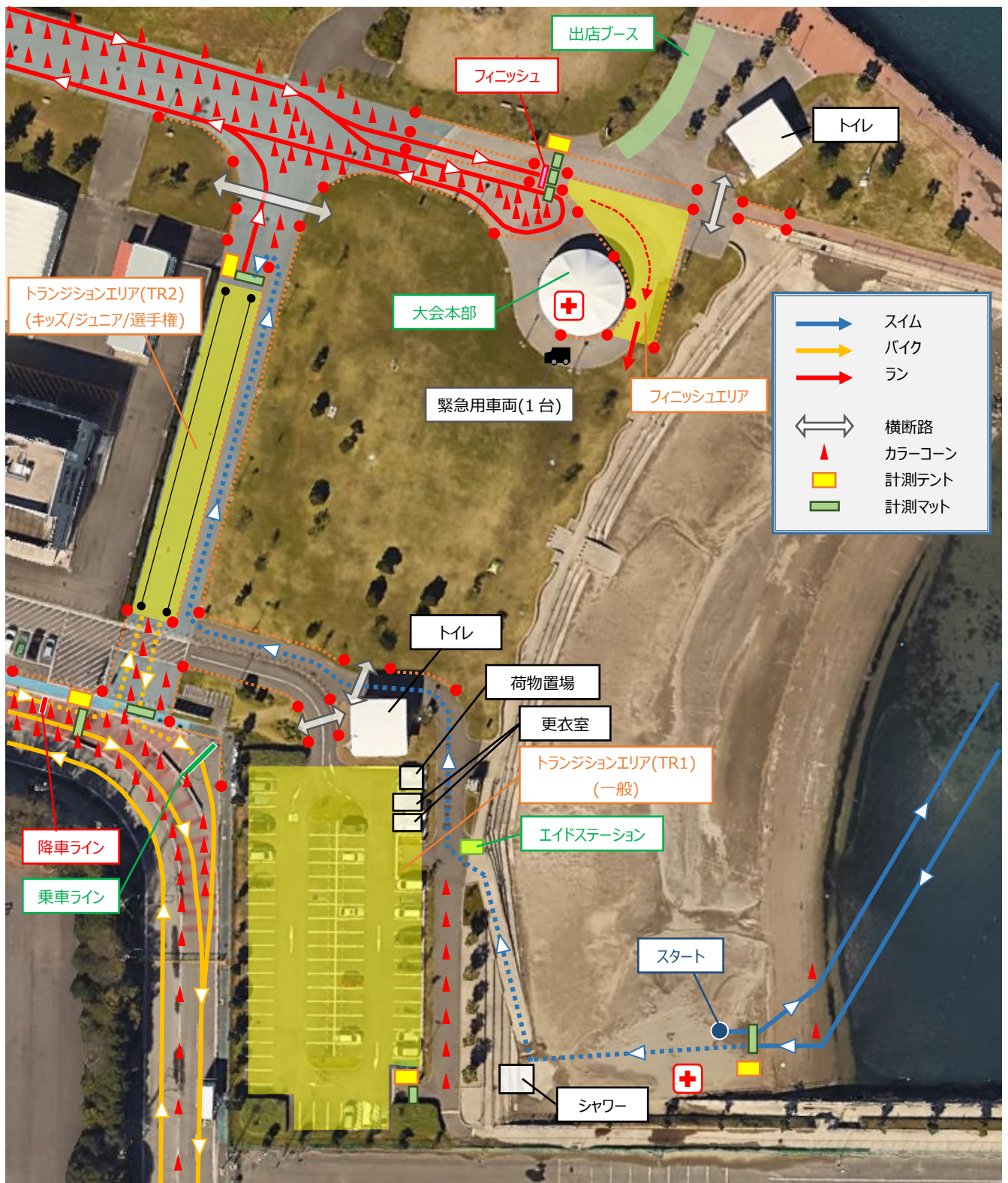
3. トランジション・チェックイン導線図



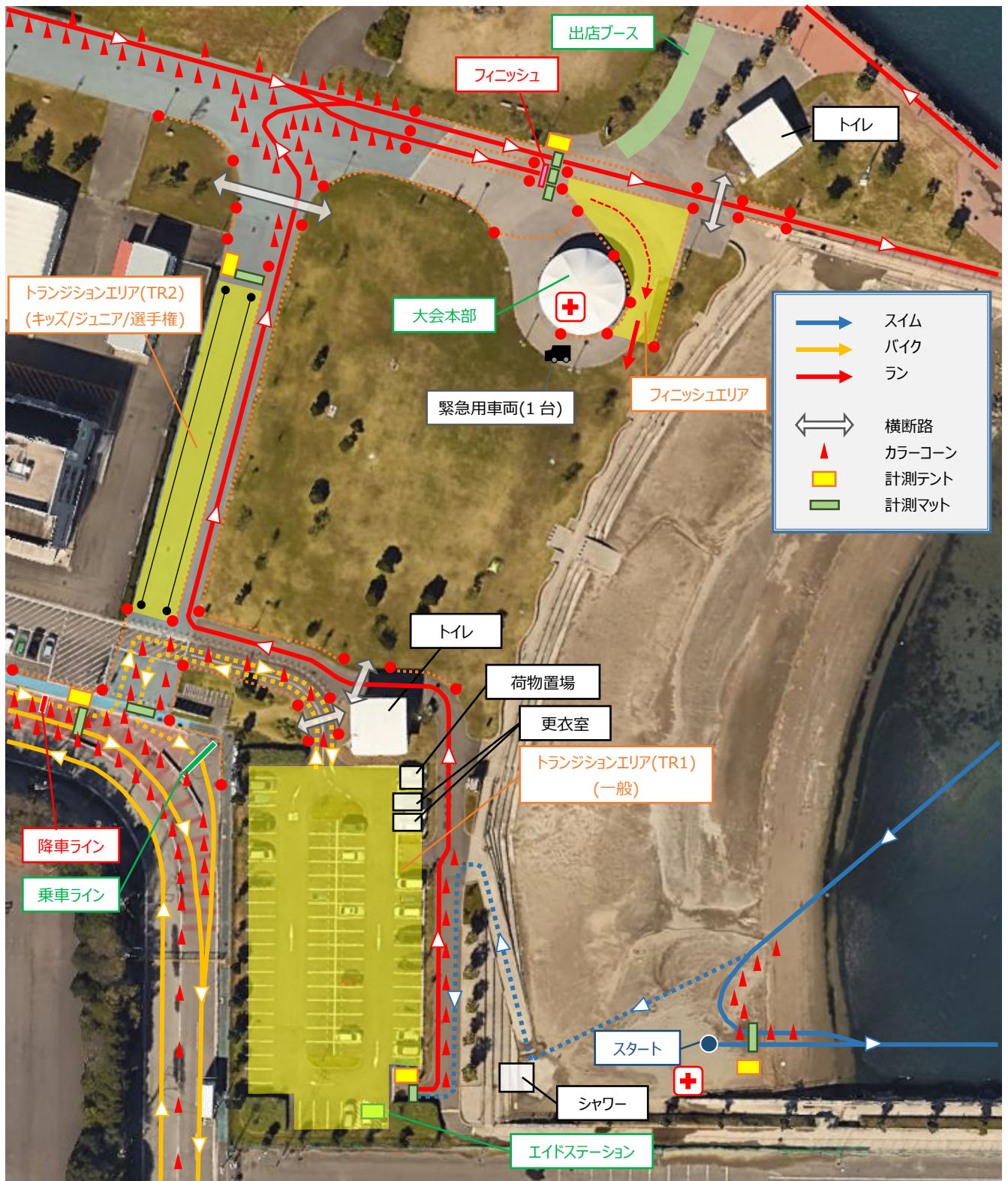


4. コース詳細図(大会本部・トランジション周辺)

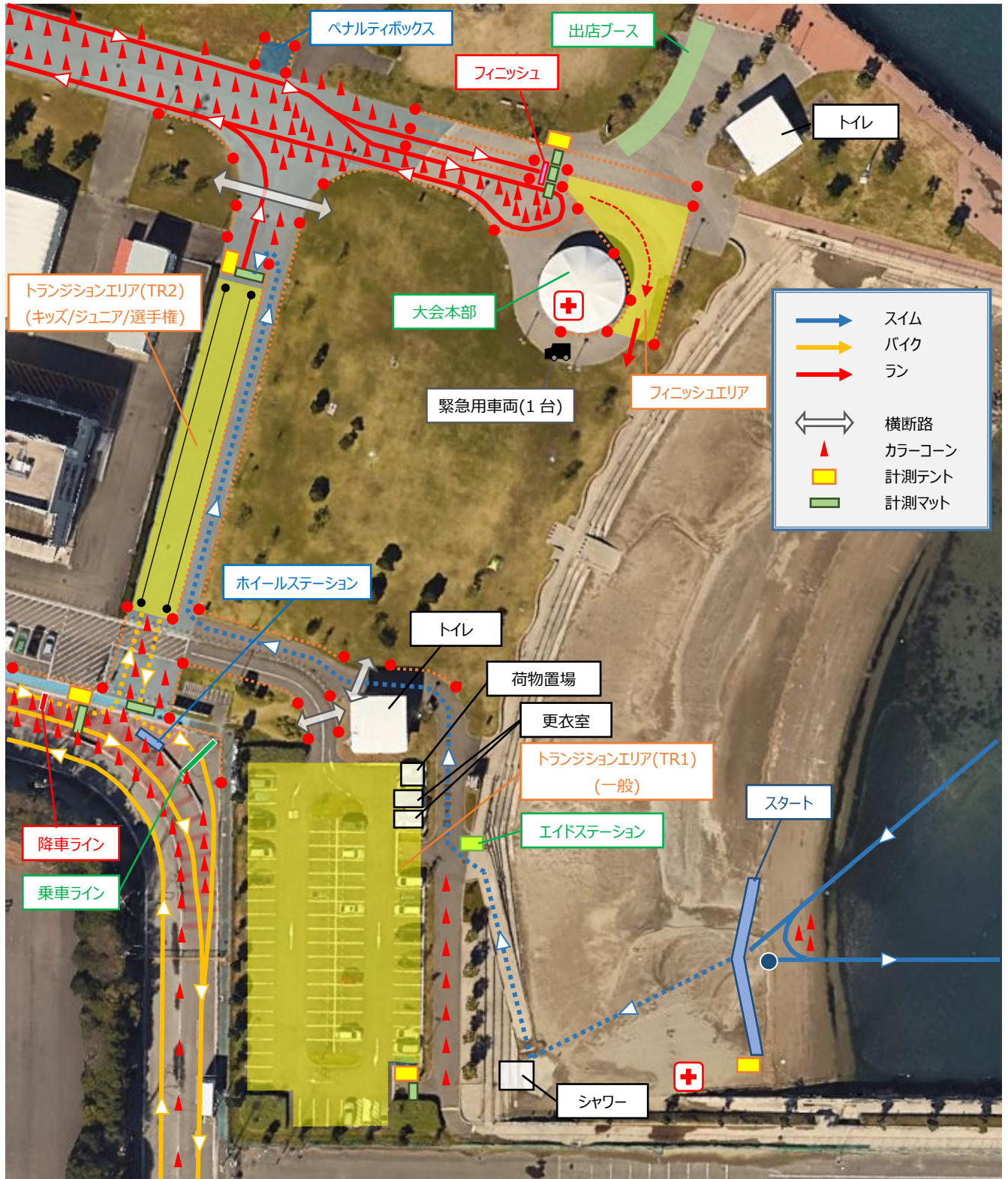
09:00~10:00 頃 : キッズの部、ジュニアの部



10:00~13:00 頃：一般の部



12:00~15:30 頃：選手権の部



改版履歴

版数	作成日	改版内容	改版者
第 1.0 版	2020 年 9 月 9 日	・初版作成。	中丸
第 1.1 版	2020 年 9 月 25 日	・改版。	中丸